

報道関係者各位
プレスリリース

2015年9月8日
株式会社 FFRI



FFRI のエンジニアが情報セキュリティ国際会議「CODE BLUE」で研究発表
～攻撃リスクが高まる iOS 端末に今後懸念される新たなマルウェアの脅威を解説～

サイバーセキュリティ領域において国内で独自の研究開発活動を展開している株式会社 FFRI（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：鵜飼裕司、以下 FFRI）は、2015年10月28日～29日、ベルサール新宿グランド（東京都新宿区）にて開催される、日本発の情報セキュリティ国際会議「CODE BLUE」にて研究発表いたします。

「CODE BLUE」は、世界トップクラスの情報セキュリティ専門家による最新研究の講演を聴き、相互に情報交換することができる、高度なセキュリティ技術の交流と教育・学習・気付きの機会を提供する日本発の国際会議です。世界屈指のセキュリティ専門家を海外から招聘し、最新の研究を共有するとともに、国内の優秀な研究成果を国際社会に発信することを目指しています。

FFRI の研究「iOS マルウェアの動向と専用ガジェットによるマルウェア検知」は、世界各国から集まった応募論文から中立性が高く、最新のセキュリティに関する技術トレンドであると評価され、「CODE BLUE」スピーカーに選出されました。

FFRI は「CODE BLUE」を通じ、FFRI のサイバーセキュリティ対策研究の知見とノウハウを世界に発信し、健全な IT 社会の発展に貢献してまいります。

【FFRI 研究発表内容】

- ・スピーカー：西尾素己（基礎技術研究室 エンジニア）
- ・テーマ：「iOS マルウェアの動向と専用ガジェットによるマルウェア検知」
- ・概要：iOS 端末に対する最新の攻撃動向の調査と分析に基づいて、今後 iOS 端末に懸念される新たなマルウェアの脅威について解説します。Apple のアプリの審査とサンドボックスによって従来は安全と考えられてきた iOS ですが、攻撃を受けるリスクが高まってきています。

将来的に懸念される脅威の例として、iOS8 以降にサポートされた「Embedded Framework」を悪用する擬似バンキングアプリに対する MITB 攻撃のデモを行います。

また、今後出現が予測されるこのようなマルウェアに対する検知手法の例を発表します。サンドボックスによる制限を受けない USB 接続で取得可能な「署名」「パーミッション要求」「プロファイル」「サードパーティーフレームワーク」などの情報の解析によってマルウェアを検知する手法を解説し、Raspberry Pi を用いて実装したプロトタイプツールのデモを行います。

- ・リサーチペーパー：FFRI web サイトにて後日公開予定

【イベント名称】

CODE BLUE

<http://codeblue.jp/2015/>

【日程】

2015年10月28日（水）～29日（木）

【主催】

CODE BLUE 実行委員会

【会場】

ベルサール新宿グランド

東京都新宿区西新宿8-17-3 住友不動産新宿グランドタワー1F

■株式会社 FFRIについて

当社は2007年、日本において世界トップレベルのセキュリティリサーチチームを作り、IT社会に貢献すべく設立されました。現在では日々進化しているサイバー攻撃技術を独自の視点で分析し、日本国内で対策技術の研究開発に取り組んでいます。研究内容は国際的なセキュリティカンファレンスで継続的に発表し、海外でも高い評価を受けておりますが、これらの研究から得られた知見やノウハウを製品やサービスとしてお客様にご提供しています。主力製品となる、「FFR yarai」はミック経済研究所調べ^{※1}によるエンドポイント型標的型攻撃対策分野における出荷金額においてNo.1を獲得しております。

※1 出典：「情報セキュリティソリューション市場の現状と将来展望 2015【外部攻撃防御型ソリューション編】」

本件に関するお問い合わせ先

写真・資料等がご入用の場合もお問い合わせください。

株式会社 FFRI

経営企画部 PR担当

TEL: 03-6277-1811

E-Mail: pr@ffri.jp URL: <http://www.ffri.jp>

「FFRI」、「FFR yarai」は、株式会社 FFRI の登録商標です。

その他すべての社名、製品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

出典資料の引用等、調査会社の著作物を利用する場合は、出典元にお問い合わせください。